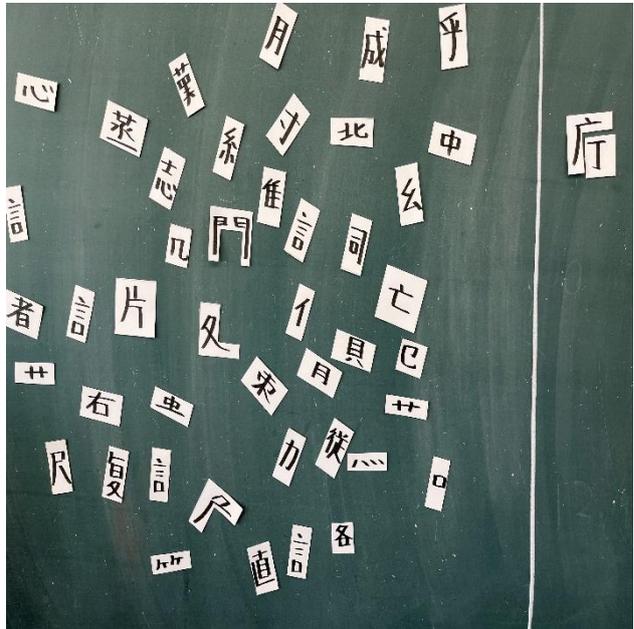
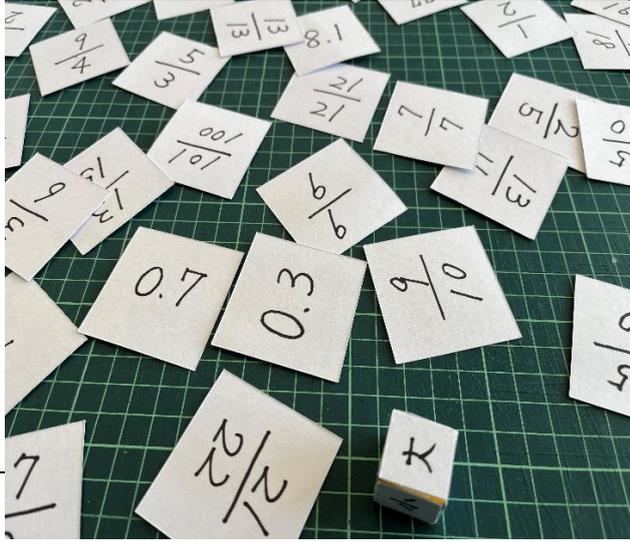


自作教具の活用事例

<p>【作品名】 ミニカードの利用 漢字作り 分数の大きさゲーム</p>	<p>【学校名】 日立市立宮田小学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 国語 算数</p>	<p>【制作者名】 須藤泰行</p>
<p>【制作の意図】 遊びながら、漢字の偏や旁を意識して漢字を覚えられるようにしたい。  分数や小数が1より大きい、小さい、等しいを、ゲームしながらつかませていきたい。</p>	<p>【使用方法】 漢字を分解したカードを無作為に黒板に貼り、組み合わせて漢字を作っていく。  サイコロを振って、大、小、=にあわせて1より大きいか、小さいか、等しいカードを取っていく。</p>
<p>【制作上の工夫】 タイムリーにできるように、あらかじめ画用紙を小さく切って、ミニカードを大きさごとにたくさん用意しておく。 漢字は題材ごとに作っていき、掲示したり、ある程度たまったら復習に用いたりする。 算数ではカードに数を書いたり、色分けしたりして単元に応じて使い方を変えていく。</p>	
 <p>画用紙のカードだが、裏に磁石を貼付することで取りやすくなり、黒板やホワイトボードへ貼り付けても活動することができる。</p>	<p>【使用効果と応用発展】 漢字カードでは、「こんな漢字を見たことがある。」などと一生懸命考えながら取り組む姿が見られた。偏や、できた漢字の意味を付け加えていくことで漢字全体の成り立ちに興味をもつことができた。 算数では、「1より小さい、大きい」について小数、分数とも、どんな場合にそうなるのかを見分ける力を高めることができた。 カードはその後、ヒントカードとしても活用し、振り返りに役立っている。</p>